

傷跡が残ることもある「あせも」は早めの対処を

汗をかく時期は「あせも」や「汗かぶれ」がよくなります。あせもは、大量の汗をかいたときに汗が出る管(汗管)が詰まり、汗が外へ出ずに皮膚の中に漏れだすことにより起こります。水疱や赤いブツブツができ、炎症を起こすと痒くなります。汗かぶれは、汗が蒸発した後の残留物が皮膚を刺激して炎症を起こした状態です。汗が出る腺(汗腺)の部分だけでなく、その周囲にまでピリピリした痛みや痒みが起こります。どちらも、頭や額、首、肘や膝の内側、胸や脇下、脚の付け根など、衣類が密着したり汗が乾きにくい部分によくできます。

とほほ同じなので、大人より多くの汗をかきます。しかし、大人のように自分で上手に汗を拭いたり着替えたりできません。そのため、あせもや汗かぶれは大人より子供に多くみられます。

あせもや汗かぶれを予防するには、肌を清潔に保つことが大切です。汗をかいたら早めにシャワーを浴びたり、濡らしたタオルで押さええるように拭き取りましょう。熱いお風呂は避け、エアコンを上手に使用して快適な室温を保ちましょう。炎症を起したり掻いて悪化した場合は治療が必要です。汗のケアや汗による皮膚症状にお悩みの際は、皮膚科にご相談ください。

☎0798-68-1211

<https://asakura-hifuka.com>

西宮市甲子園口2-4-10

メディコート甲子園2階

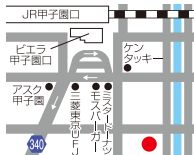
診療科目 / 皮膚科・美容皮膚科
 (炭酸ガスレーザー・Qスイッチルビ
 レーザー・まつ毛貧毛症治療・
 イオン導入・ピーリング・多汗症など)

診療 / 9時半～12時半 16時～19時

(診療最終受付18時45分)

休診日 / 水曜・土曜午後・日祝

予約専用電話 ☎050-5212-0666



診療予約QRコード



院長
朝倉 麻紀子

日本皮膚学会
認定皮膚科
専門医

